2014年11月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
単行本		
1	著者名	小島肇
	書名	エマルションの特性評価と新製品開発，品質管理への活用
	出版社名，発行地，年号，ページ	株式会社技術情報協会，東京(2014)pp326-331
	掲載内容	化粧品の安全性評価に関する許認可制度，試験法，過去の皮膚障害と市販後調査の重要性について解説した.
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	「動物実験代替法に関する国内外の動向」～動物実験禁止の国際社会での広がりについて～
	学会名，発表年月及び場所	新潟大学　慰霊祭特別講演（2014.11）（新潟）
国際学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	Cases of OECD Guideline development by JaCVAM（日本動物実験代替法センターにより開発されたOECDガイドラインの例）
	学会名，発表年月及び場所	11th Annual meeting of KSAAE（2014.11）（清州,韓国）
2	発表者名	小島　肇
	演題名	Safety evaluation using alternative methods for qusai drug & cosmetic products in Japan（日本における医薬部外品および化粧品のための動物実験代替法を用いた安全性評価）
	学会名，発表年月及び場所	Progress on replacement of animals for cosmetic resting and other issues（2014.11）（ボルチモア,米国）

レギュラトリーサイエンス学会		
1	発表者名	小島　肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	KoCVAM Scientific Expert Meeting on Alternative Methods（動物実験代替法に関する韓国動物実験代替法センター科学専門家会議）
	演題名	ガセイン文化センター（清州，韓国）2014年11月14日
	学会名，発表年月及び場所	動物実験代替法開発のためのバリデーションの進め方のノウハウについて，意見交換した．
2	発表者名	小島　肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	OECD Eye Irritation Test Expert meeting（OECD眼刺激性試験専門家会議）
	演題名	OECD本部（パリ，フランス）2014年11月6-7日
	学会名，発表年月及び場所	日本から提案している眼刺激性試験代替法　短時間曝露(Short　Time Exposure)法のテストガイドライン案について議論がなされ，その成立にほぼ合意が得られた．
3	発表者名	小島　肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	OECD Workshop on framework for integrated approaches for testing and assessment（IATA）（OECD　試験法と評価のための統合アプローチの枠組みに関するワークショップ）
	演題名	EPA（環境保護庁）（ワシントンD.C.，米国）2014年11月17-19日
	学会名，発表年月及び場所	OECDが推進しようとしているIATA(試験法と評価のための統合アプローチ)の考え方，取り組み方などについて各国の専門家が意見交換し，その内容に合意がなされた．